

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和7年12月22日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

生徒会役員改選・新執行部任命式 ～さらによりよい学校をめざして～

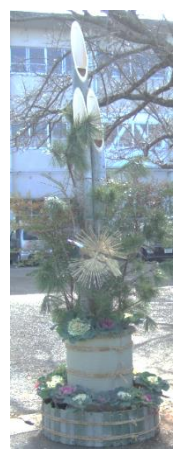
12月9日（火）は新しい生徒会役員の立会演説及び選挙が行われました。2年生3名、1年生3名の計6名が立候補し、演説会ではこんな学校にしていきたいという熱い想いを伝えてくれました。現3年生の生徒会も様々な取組を行い、よりよい学校づくりに大いに貢献してくれました。この伝統を受け継ぎ、新たな生徒会がスタートします。12月18日（木）には新執行部の任命式を行いました。新役員を中心として、六中生みんなですらによりよい学校を創っていきましょう。

会長：白石 丈博（2年） 副会長：山本 紗良（2年） 副会長：福田 聖（1年）
議長：橋本 結斗（2年） 副議長：坂口 結香（1年） 書記：村仲 杏梨（2年）

門松完成 ～よりよい新年が迎えられますように～



12月15日（月）、地域の方々のご協力により六中の正門に立派な門松が飾られました。先月末に敷川内にお住まいの方所有の竹林から大きな竹を切り出して運搬。その後、きれいに整えられた竹をはじめ、様々な材料がこの日学校に運ばれました。門松の周りに巻くゴザも鼠蔵町の方から提供していただきました。朝から造園業をされている地域の方のご指導を仰ぎながら、PTA本部役員の方々や職員で協力しながら作業を行いました。



門松は年神様を迎えるための目印とされ、松・竹・梅が使われています。「松」は、「神を待つ＝松」として、古来より神様が宿る木とされています。また、冬の寒さにも耐えて一年中緑の葉を付け、樹齢が数千年にもなることから不老長寿の木とも言われています。「竹」はまっすぐに伸び、成長が早いことから生命力や繁栄を願っています。3本の竹が使われるのは2で割り切れない縁起の良い数であるからとされています。また、節を斜めに「そぎ切り」にすることで、切り口が笑顔に見えます。「梅」はおめでたいとされている紅白の花を早春に咲かせることから、出世や開運の意味も込められています。一緒に飾られる「南天」は「難を転じて福となす」という語呂合わせから、昔から縁起が良いとされています。「葉牡丹」は縁起のよさと同時に冬の厳しい寒さに負けない丈夫な植物であることから門松に使われるようになりました。

令和8年（2026年）が六中生にとって素晴らしい年になることを願って多くの方々が力を合わせて門松を作っていただきました。本当に有り難いことです。関わっていただいた多くの方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。六中生の皆さんは地域や保護者の方々の温かい想いを受け止め、新しい年も勉強や運動にますます頑張ってくださいと思います。併せて、金剛校区の全ての方々のご多幸を心からお祈り申し上げます。

1月の予定

- 8日（木）始業式
- 9日（金）実力テスト一日目
- 11日（日）PTAリサイクル活動
- 13日（火）実力テスト二日目
- 14日（水）2年修学旅行～16日（金）
- 19日（月）生徒集会
- 20日（火）身体計測～22日（木）
- 23日（金）第3回英語検定
- 27日（火）人権集会
- 29日（木）専門委員会



いよいよ今週水曜日が2学期の終業式になります。六中生の皆さんにとってはどんな学期だったでしょうか。体育大会や文化祭もありました。それぞれの学年で様々な授業や取組もありました。頑張った点もあるでしょう。もう一息の部分もあるでしょう。節目の時期に自分自身をしっかりと見つめ、新たな自分をイメージしていきましょう。未来を考えながら生きていくこと、それが成長につながります。学年の締めくくりとなる3学期のさらなる頑張りに期待しています。

